

大草谷津田いきものの里 自然観察ガイド

夏の元気ないきものに会いに行こう

田井中 信子（千葉市）

日 時：2009年8月16日（日）10時30分～12時 天候：晴れ

参加者：大人20名 子供15名

担当指導員：岡田敬子、田井中信子

はじめにいきものの里が作られた主旨、概要、危険な生き物に対する注意、保険の説明をした。

網や虫籠を持った子供達は元気良きいきものに会いに出発。採集範囲は杉林→ めじろんば→ 田圃側道→ ハンノキ林広場→ 下ノ畠階段登り口までとした。

皆目を輝かせて網を振ったり、カップを使ったりして、自由に虫捕りを楽しんだ。11時半にハンノキ広場の机に、採集したいきものの籠を名前の書いてあるカードの前に並べた。

一番多かったのは、待望のオニヤンマを筆頭に各種トンボ、次にバッタ、蝉の抜け殻各種、鳥は声を聞いた又は姿を見た事で仲間に入れた。川の仲間はザリガニ1種。採集したいきものは、全部で11種になった。今日のまとめとして食物連鎖を皆で考えた。



上図の矢印にあたるところは、紐を使った。いきものの名前を書いたカードを子供の首にかけてもらい、関係あるいはいきものカードの子供と次々に結んでいった。こうして結んだ紐は10本になった。

最後に感想を聞いた。3年生の男の子は「バッタを捕るのは難しかったけれど、一生懸命やつたら捕れた。これからも頑張る。」と昆虫採集の決意を表明して拍手を浴びた。高学年の男の子は「生きものがたくさんいるのは、自然が豊な所だから、こういう所を大切にていきたい。」との感想に大人達も大きく頷いた。